

タイトルの「あいのかぜ」は、「私(英語でI)の風」,「あいの風(富山弁で北東からの涼しい風)」,「愛の風」を表しています。

男女はいくもステキなパートナー

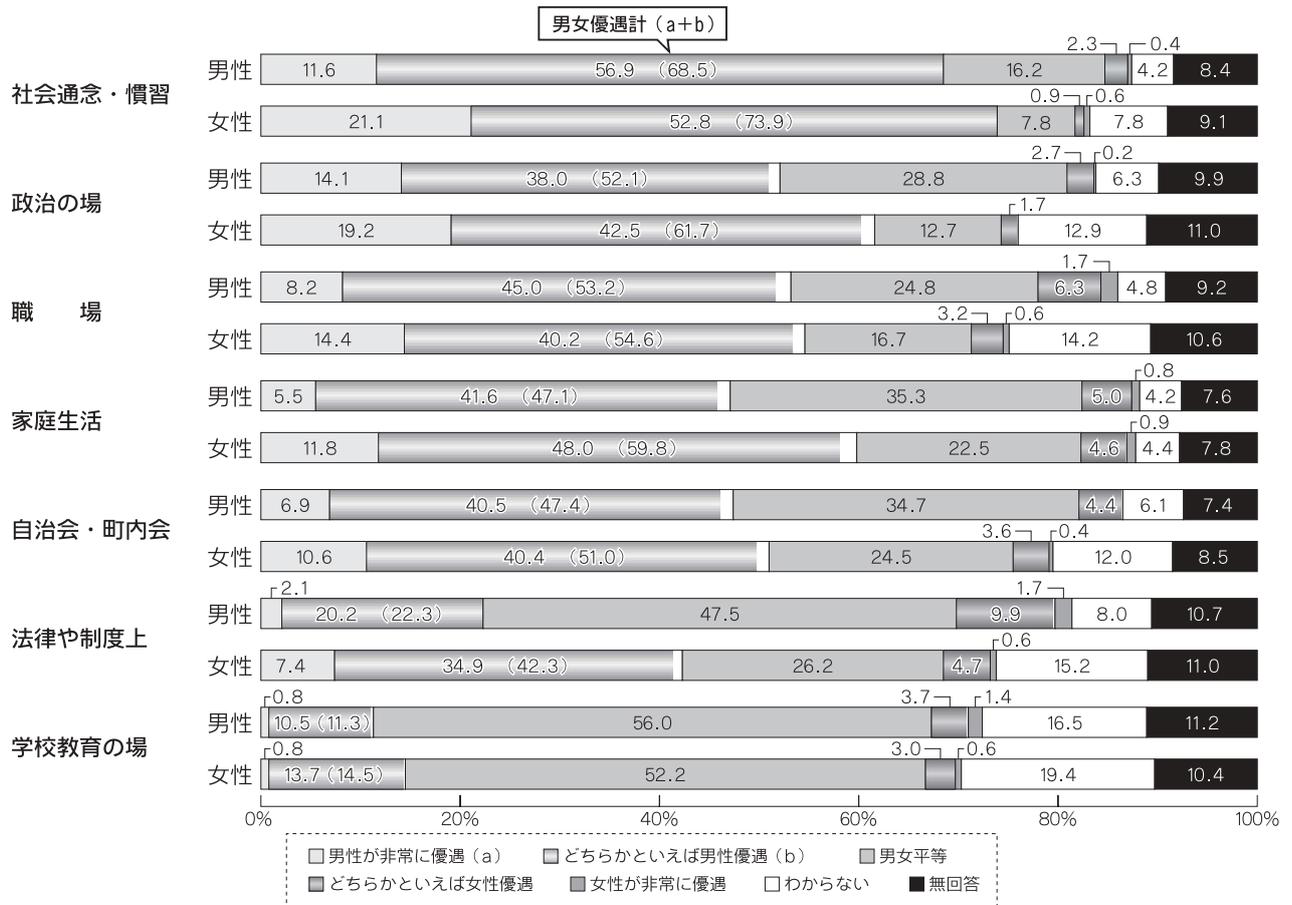


富山市では、昨年8月に男女共同参画社会に関する市民意識調査を実施しました。この調査は、家庭、地域、職場等における性差についての意識を把握すると共に、今後の男女共同参画施策に反映させていくことを目的に実施しました。

ここでは、その結果から市民生活における意識の状態を読み解き、喜びも責任も共に分かち合う男女共同参画社会を実現するためにどのような意識付け・取り組みを行っていけばよいか一緒に考えてみましょう。

1 男女の地位に対する意識

様々な分野において、「男性が優遇されている」と答えた割合が多く、「社会通念・慣習」では約7割を占めています。また、男女の間で全体的に男女平等に対する認識に差が見られます。特に、「法律や制度上」では男性にとっては「男女平等」でも、女性からみれば「男性優遇」という意識が強いようです。



～我が国の男女共同参画基本計画では～

昨年12月に改定されました、国の男女共同参画基本計画(第2次)では女性のチャレンジ支援のより一層の推進と、男女共同参画社会の形成には男性の取り組みが非常に大切であり、地域・家庭等への男性の参画を重視する必要があると示されています。男女それぞれの協力があって初めて男女共同参画社会は実現します。

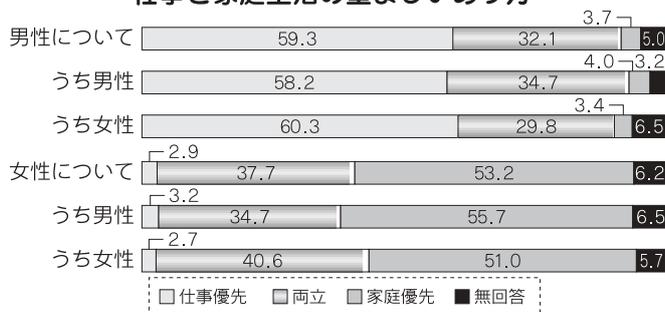
2 男女の役割分担に対する意識

男性の望ましい仕事と家庭生活とのあり方として、「男性は仕事中心・優先」という考え方が約6割と多く、また、女性の望ましい仕事と家庭生活とのあり方として、「女性は家庭生活中心・優先」が5割を超えています。これは、男女共に同様の傾向にあります。

ポイント

性別による固定的な役割分担意識は、私たちの生活の中に根強く残っています。「男だから」「女だから」という理由で、物事や役割を選択せざるを得ないと思っているとしたら、一人ひとりもっている個性や能力を十分に発揮することはできません。もっと一人の人間として尊重し、コミュニケーションをとり合えば、例えば妻が外で仕事をして、夫が家事・育児を担当することも何ら不思議なことではありません。

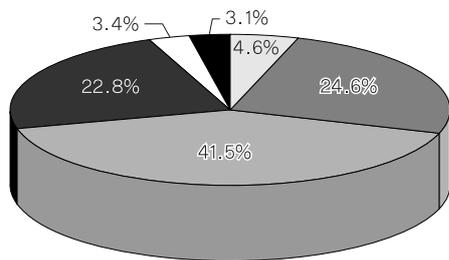
仕事と家庭生活の望ましいあり方



3 子育てに対する意識

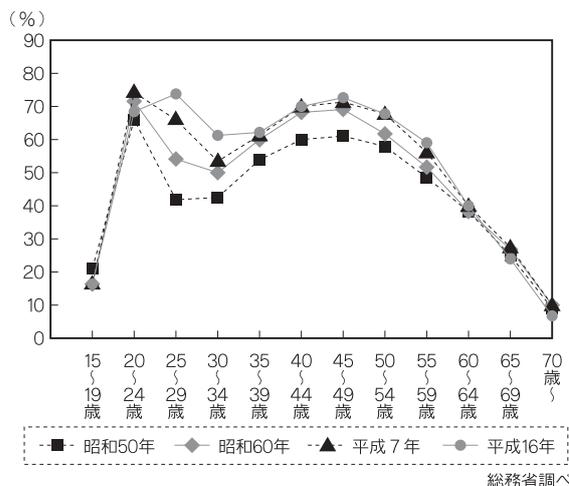
育児は夫婦が協力して行うという意識が多いようです。ぜひ、男性の皆さんも乳児期から積極的に子育てに参加し、喜びも責任も共有しましょう。

子育てと仕事のあり方



- 女性が職業を持たず子育てに専念
- 女性が乳児期は子育てに専念
- 子育ては女性中心で男性は協力
- 男女とも等しく関わる
- わからない
- 無回答

M字型曲線といわれるこのグラフは、女性の一生において、就業している率を表しています。20歳から40歳で落ち込みが見られるように出産・育児期に、仕事か家庭かを選ばなくてはならない環境にある女性がまだまだ多いことを示しています。

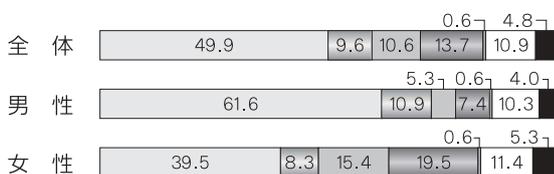


総務省調べ

4 介護に対する意識

男性では、「配偶者」や「娘」、「息子の配偶者」等、女性が介護の担い手であるという意識が強く、また、女性の中でも「娘」、「息子の配偶者」の割合が高く、「介護」は女性の仕事という意識が強いようです。

高齢者介護の担い手



- 配偶者
- 息子
- 息子の配偶者
- 娘
- 娘の配偶者
- その他
- 無回答

ポイント

少子高齢社会を迎え、高齢者の介護問題はそれぞれの家庭においてより切実な問題になってくることが予想されます。まさに、男女の区別なく、互いに協力して関わらなくてはなりません。今から介護の知識を家族みんなで身につけて、準備しておきましょう。



5 職場における男女差に関する意識

職場における女性の地位に関して、昇給・昇格や管理職登用の男女格差が強く意識されているようです。

その一方で、「女性は責任が重くなるのを敬遠している」について、男女共に5割が肯定的です。

ポイント

職場等において女性の参画を進めるためには、女性自身の積極的な意識はもとより、男性側の女性の能力に対する偏見を取り除くことも必要です。

また、育児休業制度等の活用や働き方の見直し等、女性にとって働きやすい環境の整備が求められています。

男女共に家事等を協力し合おうという意識が広がっている一方で、依然として、男女共に、「男は外で仕事」「女は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識が根強く残っているようです。男女はすてきなパートナーです。まず、お互いの考え方を尊重し、コミュニケーションを図ることが大切です。共に喜びと責任を分かち合えるように、男性も女性も男女共同参画を正しく理解しましょう。

職場における男女差に関する意識

| 項目 | 肯定意見(a+b) | | 否定意見(c) | |
|---|-----------|-------------|---------|-------------|
| | 割合 | 割合(絶対数) | 割合 | 割合(絶対数) |
| ① 採用や退職について、男女に差がなくなってきた | 15.1 | 29.5 (44.6) | 34.6 | 9.2 (11.6) |
| ② 仕事の分担は、男女に関係なく個人の適性に任じた形になっている | 12.0 | 31.3 (43.4) | 38.0 | 7.4 (11.3) |
| ③ 同じ仕事の場合、男女は同じように昇給昇格している | 9.0 | 17.8(26.8) | 45.2 | 16.3 (11.7) |
| ④ 男女は同じように研修や訓練を受けている | 20.9 | 28.3 (49.2) | 27.1 | 11.9 (11.7) |
| ⑤ 育児休業制度等が活用されるなど、妊娠・出産・育児を支える制度、雰囲気がある | 18.7 | 29.1 (47.7) | 25.6 | 14.9 (11.7) |
| ⑥ 女性は責任が重くなるのを敬遠しているように思われる | 14.5 | 35.7 (50.2) | 22.7 | 15.8 (11.3) |
| ⑦ 女性も管理職に就いて経営方針や企画に積極的に関わっている | 9.3 | 22.0(31.3) | 41.6 | 15.1 (12.0) |
| ⑧ 出産等により一旦退職した女性が同じ職場に再雇用される | 11.1 | 17.6(28.8) | 30.6 | 28.8 (11.9) |

そう思う(a) どちらかといえばそう思う(b) どちらかといえばそう思わない(c)
 わからない 無回答

調査設計

- 調査地域 富山市全域
 - 調査対象 富山市に在住する満20才以上～79才以下の男女2,000人(男女各1,000人)無作為抽出
 - 回収結果 回収数1,004(回収率50.2%)
- ※調査結果については、男女参画・ボランティア課まで

男女共同参画社会づくり作文コンクール最優秀作品の紹介

男女共同参画社会の実現に向けた意識を高めるため、市内の中学生を対象に男女共同参画に関する作文を募集したところ80点に及ぶ応募の中から決定いたしました。

【最優秀賞】老田 優介さん(堀川中3年)

【優秀賞】金山あやめさん(和合中1年) 佐幸 佑紀さん(和合中3年)

永野友依子さん(西部中2年) 村上 章さん(和合中2年)

最優秀賞受賞作品

「男女平等にむけての環境づくり」

堀川中学校3年 老田 優介

僕は、法律や制度を作るだけでは、男女平等な社会づくりはできないと思います。僕の両親は共働きで、家事も父と母がほぼ半分ずつこなしています。そんな母に、男女平等について聞いてみました。

まず、「家事と仕事、やりがいがあるのはどっち？」という質問をしました。母は、「仕事かな。やりがいがあるし、お金という面での評価をもらえる。」と答えていました。次に、「家事に専念したいと思ったことはある？」と聞くと、「ない。仕事を始めたら、家事もそれほど苦じゃなくなった。父さんも手伝ってくれるようになったし。」と答えました。最後に、「男女平等ってどういうことだと思っ？」と聞くと、「こう答えました。「例えば、育児休暇などでも、男性が休めるような制度は作られたけど、そのための環境づくりがされていない。だから、男性でも休みやすいような環境をつくるのが大事。つまり、男女平等の考え方が全て人に広まるのが、本当の男女平等だと思うよ。」

それを聞いて、僕はなるほど、と思いました。制度はあっても、昔からの慣習、世間からの目などで、その制度を使いづらければ、それは意味がないと思います。母の例にあげた育児休暇でも、2002年の男性の育児休暇取得率は1パーセントにも満たないそうです。うちの会社は育児休暇をとれるような所ではない」という言葉も聞かれるそうです。

育児休業法などの男女平等を実現するための法律を生かすためには、環境をつくること、つまり、男女平等の考えを広める必要があります。そして、それを広めていくのが、僕たちの役割なのではないでしょうか。

日本女性会議2008 とやま情報

「平成20年に富山市で開催決定!!」

日本女性会議は、男女共同参画社会の実現に向けて、毎年全国主要都市で開催され、男女に係る様々な課題を取り上げる大会としては国内最大級のイベントです。その大会を平成20年に富山市で開催することになりました。これは、県都富山市として、これまで取り組んできた男女共同参画推進のための土壌づくりや、本市の男女共同参画社会の将来像を全国に発信する、また、全国各地からの参加者に対し、富山の魅力あふれる豊かな自然、文化を紹介する絶好の機会です。

あいのかぜでは、これから開催までに発行する毎号で日本女性会議についての情報をご提供していきます。みんなで開催を盛り上げましょう!

日本女性会議とは?

1975年の「国際婦人年」と「国際婦人の10年」を記念して、女性の社会的地位向上のために、1984年に名古屋市で第1回会議が開催されて以来、毎年その意志が受け継がれ、昨年は、第22回として同じ北陸の福井市で開催されました。全国から約3,000人規模の参加者が集まる男女共同参画の分野では国内最大のイベントです。

日本女性会議のあゆみ

| 開催次 | 開催年 | 開催都市 | 大会テーマ |
|------|-------|------|---------------------------------------|
| 第1回 | 1984年 | 名古屋市 | 語り合い考え合い |
| 第2回 | 1985年 | 川崎市 | かわさき女性フォーラム'85 |
| ⋮ | | | |
| 第20回 | 2003年 | 大津市 | いのちの世紀びわ湖で輝け女(ひと)と男(ひと) |
| 第21回 | 2004年 | 松山市 | 集い、語り、ともに拓こう!新たな関係(かたち) |
| 第22回 | 2005年 | 福井市 | 女(ひと)と男(ひと)が創る豊かな未来 ともに語ろう不死鳥の郷土(さと)で |
| 第23回 | 2006年 | 下関市 | |
| 第24回 | 2007年 | 広島市 | |
| 第25回 | 2008年 | 富山市 | |

富山大会の概要(案)

開催日程等

- ① 日程 平成20年10月17日(金)～
18日(土) 予定
- ② 場所 オーバード・ホールほか
市内の施設
- ③ 内容 基調講演、シンポジウム、
記念講演、分科会等

福井大会の様子



オープニングの一コマです。このメイン会場では、有馬真喜子さん、加藤タキさんの講演も開催されました。

富山大会の準備に向けて

この日本女性会議は、行政と市民の皆さんが協働で作りに上げる大イベントです。企画運営から当日のボランティアまでと役割は幅広くありますが、熱意ある方々のご協力があってはじめて開催できる会議です。